夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電３８１ １２２２

台湾引揚者に因む佳話

老夫婦を五年間世話

温情溢る、吉田さん御夫妻

終戦後の国内は戦災、引揚者を迎え住宅難は深刻な様相を呈し親戚知人の好意でやつと同居できてもやがては不仲となつて別れるのが好意への答だつたが、これはまた引揚者夫妻が恩恵を受けるべき故郷か　背かれ途方に暮れた身寄りのない老夫婦を同じ引揚者が昭和二十四年から今までのまる五年間親身も及ばぬ世話をしているという平市内に隠れた美談が埋もれている…平市古鍛冶町無痛鍼療院吉田知友さん（六三）妻ヤオ子さん（五八）夫妻が話題の主で吉田さんは台湾の首都台北警察署で部下三十人を持つ司法主任として何不自由なく過し剣道の達人でもあるが、終戦で故郷（平市神谷字上片寄）に帰り敗戦の冷たい現実にサラリと昔の夢を捨てて電気アンマ治療という百八十度の転換を行い苦斗の数年を経て前記古鍛冶町に住居を構えたが氏が台湾在任当時交友を重ねていた台湾切つての大洋服商八幡喜一さん（七三）妻タツさん（六三）が同じ故郷（上片寄）に帰つて死にたいと帰平したことから、八幡さんが台湾在任当時故郷の公民館や、神谷青年学校（今の第六小学校の一部）を寄附したことを想い出して上片寄に住まわせようとしたが　八幡さんの恩顧をうけた故郷の上片寄部落民の態度は以外に冷たく、望郷の念やみがたく帰郷した八幡氏老夫妻は取りつく島もなく途方に暮れていた、これを聞き吉田さん御夫妻は同情するとともに故郷の人々の背信行為に憤慨し老夫婦を自宅に引き取り、家屋を改造して一部屋を与えた上、子供達のオヤツの時間には同じ様にお茶に呼ぶなど家族同様の起居をともにして今日に至つている

吉田さん談＝八幡さんは台湾では子供がないため四市に支店を持ち、温泉地北投に大別荘を持つたほど豪勢な生活をした人達ですが、故郷へ尽したにもかゝわらず冷たくあつかわれた、私も引き揚げの苦い経験をなめただけに見ていられなかつたのです　しかし私が刑事部長時代からヤクザ共を自宅に引き取り更生させていた妻の努力が八幡さんの場合でもお世話出来たのだと思います

八幡さん談＝僅かに台湾でお会いしたゞけでこんなにも吉田さんにお世話になつて毎日拝んでいます、妻は十五年前から眼を患つて盲目となりましたが、吉田さんのお蔭で人並み以上の毎日の生活を送ることが出来ます、私達に冷たかつた故郷の人達を今さら恨もうとは思いません、誰でも現実の苦しさは大変だということは判ります、それだけに吉田さんには何とお礼をいつてよいやら…

なお八幡さん老夫妻はタツ婆さんの郷里長崎の親戚から帰郷する様にと矢の催促が来ているので近く長崎へ行くようになるらしいが、親切な吉田さん一家は若しアチラに行つても住みにくい時は何時でも帰つて来なさいと云い一生面倒を見てやる決意で居るので良心的な八幡さんも一層感謝している

（写真は仲よく並んだ左が八幡夫妻、右が吉田夫妻）

三菱ミシン
平市南町電九六〇
草野ミシン商會

六萬五千貫揚る

サンマは大半が加工業へ

こゝ数日来不漁をかこつていた磐城市小名浜魚市場に七日朝五時過ぎからサンマがドツと水揚され正午現在の水揚量はざつと六万五千貫の記録を示した、磐城市辰巳町滝内寿一さん所有の八崎丸（五〇トン）など地元船七隻が岩手県とど崎の三三〇マイル沖合で漁獲したもので目廻りは三三・二匁程度だつた、浜相場は貫当り高値百十円、安値六十二円で主にミリン干加工用として地元の加工業者に引き取られた

水素の病院完成

十一月開業の豫定

磐城市高山日本水素が同字地内にかねてより建設中だつた「日本水素病院」がほゞ完成、十一月上旬開院の運びとなつた

同病院は敷地九百二十坪、建坪四百十八坪、鉄筋コンクリート二階建ての白亜の殿堂、東京の銭高組の請負いで完成、開院は十一月中になるという、病室十二室（三名と六名収容）ベツト数五十四、総工費四千百万円　診療科目は内外、小児、産婦人、歯、眼、放射線の各科で院長には現日本水素診療所長今野正士医博＝東北大卒＝が決定、陣容は医師九名のほか看護婦などを含み職員約五十名となる見込み、なお同病院は同会社従業員のほか一般者にも解放する（写真はほゞ完成した日本水素病院）

追豫 三千六百万圓

十二日から内郷議會

内郷市では十月定例市議会を来る十二日から十四日まで三日間、市公民館で開く事になつたが議題は次の通り

▼二十九年度一般会計追加更正予算（追加額三千六百万円）

▼二十九年度特別会計水道設置に関する追加更正予算

▼宮診療所の改築

▼其の他七件

來月廿一日から開く

産業文化祭本決り

磐城産業文化祭は四市始め郡内各町村あげて実施することになり、四日午後一時から平市役所委員会室に四市石城地方事務所、商工会議所、町村会など関係者が集まつて具体的な実施方法を打合せたが次の通り決まつた

▼期日は十一月二十一、二十二二十三日の三日間

▼農林水産館（平市公会堂本館）商工館（日本間）生活改善館（農業会館）文化館（平商体育館）

▼出品受付は十一月十八日まで（申込場所平市商工水産課）

▼出品物の搬入は十九、二十の両日

▼役員は会長諸橋久太郎（平市長）副会長は立花秀吉（磐城市長）矢吹荘司（常磐市長）沼田一夫（内郷市長）高木武一郎（町村会長）野崎満蔵（平商工会議所会頭）蛭湾章（郡農協組合長会長）事務局長は芳賀三男（地方事務所次長）橋本敬（町村会事務局長）丹野由雄（平市商工水産課長）

▼協賛団体は九十二にのぼりこの中から実行委員（数未定）をあげ近く打合せする

なお平市で開催することになつている発明工夫展覧会（地方事務所会議室）県下土産品展示会（平公民館二階）はこの期間中に同時に行うことになつている

踏切問題で

八日協議會

城坂踏切問題の早期解決が望まれているため平市では八日午後一時から市会協議会を開き協議することになつた、特別委員会の結論としては

▼従来通り踏切り存置の運動を続けるか

▼踏切を廃し新たに跨線橋をつくるか

▼踏切を廃止するか

の三つに別れたが先きの二案の意見が多く、そのいずれかに採決されるものとみられるが、第二案の今後なお存置の運動を続けると市当局は国鉄との当初の約束に反するワケで愈々窮地に追込まれる結果となり、当日の成行きが注目される

災害復舊へ

四市長上京

平、内郷、常磐、磐城の四市長並びに小名浜土木監督所長ら五名は台風十四号による石城地方の災害復旧事業の促進について関係官庁に陳情するため七日平発七時十一分の列車で上京した

上遠野校長着任

磐城市小名浜第二小学校校長小松藤次郎氏の教育出張所転任により東白河郡宮森大久田小学校長上遠野進午氏が後任として七日同小学校に着任した、上遠野新校長は昭和二年から十六年まで湯本一中に教鞭をとつていた

体育係に小松氏

四カ月間空席となつていた県教委石城出張所の社会教育保健体育係として小名浜第二小学校長小松藤次郎氏が十月一日附で就任する、同体育係は六月三十日附で鈴木武雄氏が県保健体育課に転任して以来空席となつていたが小松氏の就任が決定し七日着任した

常磐市編入方を申請

泉田部落の七十名

常磐市議会のもつれから先きに分市問題をめぐり常磐市合併と現状維持の両派から善後策について磐城市立花市長に陳情していた同市大字泉田部落（旧渡辺村）のうち常磐市への編入を強く希望している同大字市議遠藤隆氏ら有権者七十名は連署を以つて「三十年三月末日まで常磐市への合併を認め境界線の変更をして欲しい」との程あらためて立花市長に陳情書を提出した

同泉田部落の有権者は九十九名である

會計監査日程

石城地方事務所では土地改良区の会計監査を次の日程で実施する、二十八年度に於ける改良区の組織及び運営、事業などについて監査するもの、カツコ内は場所名

▼十一日磐城小川江筋（地方事務所）▼十二日愛谷堰（夏井村支所）▼十四日千軒平潟地（大野村役場）▼十八日戸田堰水系（大浦村役場）▼十九日大浦、大野江筋（同）▼二十二日赤井村（赤井村役場）▼二十五日（江名支所）▼二十八日渡辺（渡辺支所）

天気予報

七日

【今晩】北よりの風曇、晴れ間が出ることがあるがまだ小雨の降ることがあろう

【明日】北よりの風初めは曇、小雨の降るところもあるが次第に晴間が出て来る、海上引き続き多少風波があり、今晩から明日にかけて見透しが悪い

岡カ見物

新聞を見ると切つたはつたの事件から社会秩序を乱すいろいろな事件のような記事が多い▼然しこれは社会の暗い一部面で大部分は明るい正常な社会生活を送つているのである、新聞の読者が切つたはつたの事件がお好きなのでジャーナリストは読者の好むものを多く取材することにもなるだろう▼新聞は社会の鏡ならまだまだ明るいニュースが多くなくてはならぬ筈だ、そこで本社はつとめてその積りでやつている、美談などはまだまだ表面に出ないで埋れている場合が多いようだ▼吉田知友さん夫妻が台湾から引揚げて来て同じ引揚者の八幡さん夫妻を引取つて五年間も親同様の取扱いをして来たことなど常人の一寸マネの出来ない美談である▼また常磐市の佐藤周蔵さんご夫妻も行商に来た老婆の身の上話を聞いて同情しその夫の葬式を出してやつたり老婆を引取つて世話をしているそうだ▼こうした他人の苦しみに同情出来る人が多くなればこの世智辛い世中も楽しい社会となつて人生を楽しく送ることが出来よう、死んでからでは善根は施せない、右のような人が一人でもわが郷土に多くなることを望んでやまない

セーターあって不安なし！
出掛けに一寸セータを携えられるとこのごろの猫の目のように変る天候にも心配ありません・見た目も美しい、温い
セーターなら藤越の店頭店内に豊富に取揃えられセーターの決定版をつくります
○子供セーター　三八〇－壱千百円
○婦人　〃　六八〇－二七〇〇円
小名浜
平市
藤越

平競輪
主催 平市
場外車券売場 福島市 郡山市 若松市 平市
10月 9 10 11 16 17 18

寿司部
出前迅速
★座敷女中さん
★料理見習人
数名募集中★
才槌小路店
電話一〇三
江戸川
蒲焼　一五〇円
やながわ　一五〇円
紅小路店
電話一四五六

…秋は快的な
ヘア・スタイルで…
それによりまた新しいタイプの御自分を発見出来ることでしょう！
セビリヤ理容院
平市南町５４大黒屋西隣

ミシン
パインミシン
福助ミシン
芝浦ミシン
日産ミシン
☆チケツトご利用下さい
工場 植田町北台町電三六八
営業所 植田町本町電呼三〇
飯塚ミシン商會

男と女

幽谷露水　〔45〕

丁度アメリカのエジソンのあの研究に没頭した姿に似ていた。

こうして一日一日の喜一郎の着実な研究と努力は実りつつあつた。

四年の歳月も喜一郎には長いとは思わなかつたのも無理あるまい。

志乃武の家に平の知人が訪れたのは夏の或る日だつた。

もう二回も来ている人だつた。

「息子は三十二歳になり、どうやら離しても食べて行けますよ。丁度散子さんと年令から行つてもよく似合いますじやありませんか」なんでもかんでも二人を一緒にさせようという魂胆らしい。

話も従つて弾んで来た。

「そうですか。そういう方なら私としては異議なぞありません」

志乃武はこういつて奥の座敷にいる散子を呼んだ。

〃どうせ喜一郎は今になつては待つているわけには行かない。今日こそは兎も角承諾しよう〃と考えながら志乃武の傍に坐つた。

「散子さん、私の息子は年は三十二才になります、この前もお話した通りでございますが、どうですか…」気持のいい好々爺らしかつた。

散子は一寸顔をあからめながら「私、その方と逢つてみますわ それからでどうでしょうか」

この好々爺は〃今日も〃ノー〃という返事かと思つていたが、この返事を聞いて「ハツ」と胸をなで下ろした。

「それは有難い、逢つてお互いに話でもしないと分からないですからなあ」好々爺は大満悦だの態つた。

この様にして散子はその方と逢つた。思つたよりいい性格の方だつた。父も大変喜んでくれた。

その方は島崎雪雄といつた。顔は一寸喜一郎より劣つていたが我慢した。結婚は早い方がよいという両者の歩み寄りから九月中に式を挙げることにした。

縁は異なものというが全く思いもよらぬ処に在るものである。

時々喜一郎を思い浮べながらもそれを掻き消す散子であつた。

結婚式の日がやつて来た。散子の晴れ姿—何んという美しい姿だろう。

今日から晴れて新郎新婦となつた二人の胸はときめいていた。

志乃武も今日だけは大満悦の態だつた。

「おめでとう、おめでとう」二人を取り巻く挨拶の中で散子は微笑の表情を浮かべている年老いた父の顔が眼に映つた。

神楽運天坊夫妻も席上に顔を見せていた。三々九度の盃を交わした時、散子は始めて人生の幸福を感じていた。

これから二人は結ばれて夫婦となるのである。

お客の中で目立つていたのは分校の子供達全部が集まつていたことだ。

「やあ、おら方の先生きれいだで…」みんな散子の今日の晴れ姿を見ようと集まつて来たのである。

そしてめいめい勝手なことをしやべつていた。

やがて翌朝、二人は新婚の旅へ熱海にむかつたのである。

汽車が日立駅に着いた時、下りホームに平行きの客車が止まつていた。

下りの客車には古沢喜一郎が乗つていた。上り客車の落葉散子は目ざとく見つけた。

一瞬、散子は「あつ…」と声を上げてしまつた。隣りに腰を下ろしている亭主の雪雄は

「どうしたんだい…？」と散子の顔を見つめた。

何んといういたずらな運命だろうか。

古沢喜一郎は、医学会総会に於いて晴れて研究論文の発表したのでこれを機会に散子と結婚しようと考えはるばると平にやつて来る途中だつた。

喜一郎も又偶然、一瞬間、散子を見つけたのである。

「一寸…」散子は頭が痛くなつたふりをした。

下りと上りへ汽車はいたずらな運命を乗せて発車したのである。

古沢喜一郎と相結べる日を夢見待ちに待つた四年間であつた。

散子の気持ちは悲しかつた。

又反対に「きつと待つてますわ」と月夜の晩に誓つた散子と喜一郎の信じていた心も、月日の余りに長かつた為—散子は諦めてしまつたのである。

折角の人生の意義ある新婚旅行も重々しい心の中に不愛想に終つたのである。

〃もう少し結婚を承諾しなかつたら〃喜一郎と結婚出来たのにと思つた。

それこそほんの少しの辛抱のところで惜しい事をしたものである。

いくら悔やんでも後の祭りとはこんなことをいうのかも知れない。

これが社会だとすれば男と女の関係はいろいろなカーブを描いて今日も幾組かの男女がこの様な恋愛コースを辿りつゝ恋愛の歴史を繰り返しているのではなかろうか

今後、落葉散子と島崎雪雄との夫婦生活航路は果して末長く幸福に行くだろうか。

然し、それは読者諸賢の御後援さえあれば又、二人の気持さえしつかりしていればいつかは相愛の夫婦として張り合いのある生活が出来ると思う。

又、古沢喜一郎も研究論文を発表した将来を期待されるだけに、一日も早く新家庭を築いて楽しい生活に入られんことをお祈りする

人生は長い—

共に信じ合い、共に助け合つて、明るい家庭を—楽しい生活を—送られる様、敢て筆者はお願いする

亭主は亭主なり。男性はこの意義を。

妻は妻なり…女性は誇らしげに未婚者の男女の方は恋愛は神聖にして清純なることを。（完）

豫算額三億三千萬

平市現勢　戸數は八千三百

一町三ケ村と合併した平市の現勢は概要左の通り（八月末現在▼人口＝六四、〇二六人、一平方粁当り六七八人▼戸数＝一二、六七五戸▼連たん状況（家屋の密集状況）＝戸数八、三〇二戸、全戸数に対する割合六五・五％▼区域＝面積九四、三七平方粁、東西一一、〇粁、南北一五、六粁▼業態生業の割合＝イ都市的業態（商工業五、五八四人、その他二七、四一八人、合計三三、〇〇二人）ロその他の業態（農業二四、三六八人、その他六、六五六人、合計三一〇二四人）▼中学校以上＝中学校六、高等学校五▼文化施設＝図書館一、公会堂九▼公営事業＝上水道二▼国税＝納税額六九、六四七、四〇八円、一人当り一、〇八八円▼県税＝納税額一二、一三四、六六五円、一人当り一、七三五円▼市町村民税＝納税額一三〇四八四、七八六円、一人当り二、〇三七円▼前年度予算額（各町村のを合算したもの）＝三三〇、五二七、三八六円▼銀行（支店）＝七▼会社（資本金五〇〇万円以上）＝三▼衛生施設＝病院三、診察所八三▼娯楽施設＝劇場一、映画館六▼生産額＝総額一、七八六、〇七一千円、一戸当り一四一千円（生産額内訳＝鉱工産九八八、七〇三十円、農産六八五、八七六千円、その他一一一、二九三千円）▼交通状態普及状況＝鉄道軌道駅二、乗合自動車一三三、その他自動車七四七▼鉄道乗客数（一日平均）＝乗客一〇、五七五人、降客一〇、四八七人▼郵便（一日平均）＝発信六、九八六、受信八、一六七▼電信（一日平均）＝発信二七八、受信三一一▼電話加入数＝二、二四〇件▼郵便局種数等別＝普通局一、特定局九▼ラジオ聴取戸数＝八、二〇〇【平市の財産、負債、予算その他の内容】▼財産＝❶基本財産（田一反、宅地二、二八八坪、山林一〇八〇一反、その他三八五、五六反、建物六十六坪、有価証券（額面）一、〇三六、五六〇円、現金一五一、四〇六円）❷特別基本財産（田三、六三二反、畑一、〇二一反、山林五九、四五八反、有価証券（額面）一一一、五〇〇円、現金二六一、八六三円）❸積立金（二、六九三、一〇八円）❹行政財産（土地九九、八〇八坪四合五勺、建物二〇、三〇八坪九勺）▼負債＝起債額（平市、豊間町、草野村）一二九、六一九、八〇〇円未償還額一一三、九一三、三六二円▼予算＝（歳入歳出とも）三〇一、五九三、一二四円▼議員数（現在数）平市三〇、豊間一六、高久一六、夏井一六、草野一七、合計九五名▼職員数平市二七二、豊間一九、高久一三、夏井一六、草野、合計三四六名

二、三日は寒い

十日に天候回復

週間豫想

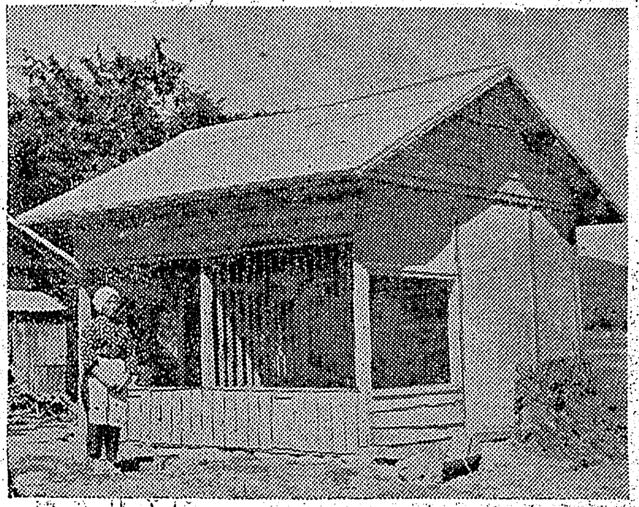
磐城市小名浜測候所では六日から十二日までの週間天候予報を六日次の通り発表した

六日遅くから七日にかけて一時雨がふりその後天気は回復するが九日ごろはまた雲が多くとこ[illegible]により一時小雨が降るかも知れない、然し十日は高気圧に被われて割合天気は良い見込み、十二日ごろになつて天気はやゝ大きく崩れよう、気温はこゝ数日は平年より低目の日が多い、十日ごろから平年並になろう海上は七日ごろ風波が高く九日ごろも幾分波立つが大したことはない、十二日ごろ風波が高い

未亡人更生資金が實を結ぶ

養鶏業で更生

玉山部落民も協力



今まで生活扶助をうけていた二人子持ちの未亡人が母子福祉更生資金の借入れで雄々しく独り立ちを決心し、その[illegible]聞いて部落民が無償で鶏小屋の材料を提供するなどの美談があつて、今では五十羽の白色レグホンの飼育に成功し立派に更生したという話題がある

大野村大字玉山字扇敷前片寄ツヤさん（三〇）は石城福祉事務所から生活扶助をうけて二人の子供と細々の生活を送つて来たが、何時までも国の世話になるべきではないと養鶏事業を計画し第四次母子福祉更生資金貸付に申請し、福祉事務所でも片寄さんの熱意に協力して県に適格者として本年三月申請したのが首尾よく四月に三万円を交付された、片寄さんの雄々しい独り立ちを祝し感激した玉山部落民は無償で建築材料を提供するほか建築を手傳つてこの程四坪半の立派な鶏小屋が完成し、五十羽の白色レグホンが賑かに飼育されて以来三カ月、レグホンはすくすくと成長し産卵は本年十一月ごろから一日平均四十個が産れる予定で、片寄さん一家の将来が祝福されている（写眞は更生資金で立派に建つた鶏小屋）

内郷一中で文化祭開く

内郷一中では来る九日午前八時半から文化運動及び生徒会活動の一端として芸能発表と生徒、教師、父兄の作品展示会などを中心に創立七周年記念文化祭が盛大に行われるが主なプログラムは次の通り

▼バザー、生徒の作つた金工木竹等の細工物手芸品被服類▼展示会図画工作習字華道模型品、写眞▼演劇の部ダンス、音楽、児童劇の三題▼模型飛行機大会

[illegible]

サンマ大漁

—民のかまどは賑いにけり

—天皇

（小名浜　トシ子）

秋深し

—隣は何をする人ぞ

—ポンに密造ヤミ煙草

（飯野　太郎）

平安信用組合

正式に認可

平安信用組合＝資本金一千万円＝（組合長大谷要次郎氏）では九月廿八日附で正式に県から認可があつた、それで来る十日午後一時から役員会を開き開業の日取など協議するが、新事務所は平市三十米道路東邦銀行向側に設置してあり今月中には開業の予定である

矢吹市長ら縣から表彰

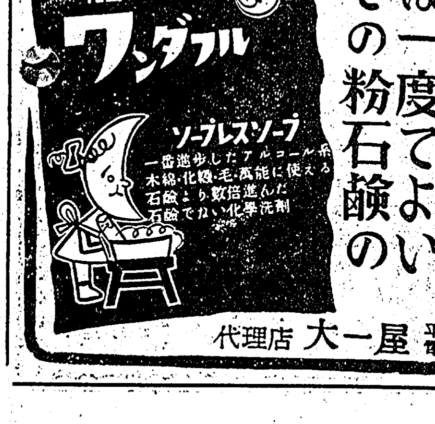
合併功労で

矢吹常磐市長並びに越田村議長、大田原旧磐崎村長、飯島旧湯本町議長の四氏は町村合併功労者として九日県庁で表彰されることになつた

アララという間にヨゴレがおちてゴスギは一度でよいしかもこれまでの粉石鹸の倍洗える—重宝お徳用な化学新洗濯剤です！

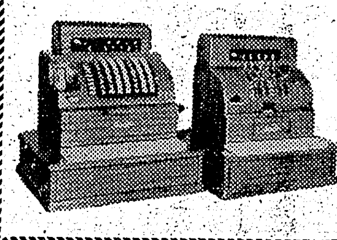
二〇〇瓦八五〇円

代理店　大一屋　平二　電13



花王粉せんたく
ワンダフル
ソープレスソープ
一番進歩したアルコール系
木綿・化繊・毛・万能に使える
石鹸より数倍進んだ
石鹸でない化学洗剤

新しいDPは富士



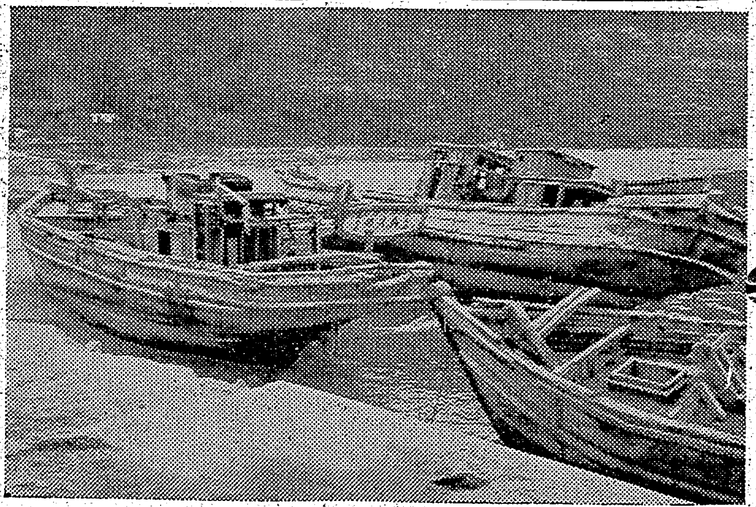
登録商標（日本金銭登録機改名）
國松金銭登録機
數種類・販賣
東北總代行　萩金庫商會
平市田町1番地電話65・1352番

純良
毛布
永い信用に一流メーカー品をいつも豊富に取揃え
㊄の店　中野洋品店　平三　電53

厚生医療指定病院
整形外科
外科
内科
レントゲン科
理學診療科
【入院随時】
医療法人　竹林病院
院長　竹林貞吉
医員　高見沢明
部長　津田守道
平市三十米道路電八一一・六〇八

健康的で文化生活の基礎
信用をコクコク刻む誠光堂
正確な誠光堂の掛時計
平市銀座通り電話一四九六番

明るい大廣間
結婚披露宴には
如何なる御相談にも應じます
谷口　電8



魚の巣を造る

古船四隻を沈む

磐城市小名浜漁協組では魚族の繁殖事業の一環として六日使用不能となつた同港所属の漁船第一海津見丸（十二トン）柳栄丸（五トン）第三共徳丸（九トン）開運丸（六トン）四隻を魚巣（つきいそ）に活用するため小名浜港沖合に沈船した、いずれも十五トン未満の小型底引漁船で船令は短いもので五年から二十三年、水産庁がトン当り平均五万九千円前後で買上げた、この日は県平水産事務所松井所長、水産庁すぎ田、今井両技官市長代理遠藤水商課長、三代同漁協組合長らが立会つた

平水産事務所管内では勿来六隻、四倉、豊間各一隻、中村、小名浜各四隻の計十六隻（国庫補助総額二百四十七万五千円）が魚巣として沈船される（写真は魚巣として海中に沈下された廃船＝小名浜港内にて）

殺意なしと公判で供述

殺人未遂事件

四倉町本町下駄職千葉勉（三四）の殺人未遂事件の第一回公判は六日午前十時から地裁平支部法廷で大達裁判長、横地検事、秋元弁護士立合で開いたが、千葉は警察署で供述をひるがえし「殺意はなかつた」と否認した、同人は八月二日午前二時ごろ四倉町新町漁夫新妻定雄さんと内妻との三角関係内妻のことから口論となり、新妻さんの下腹部その他に二カ月の刺傷を負わしたもので、同法廷では三角関係を清算するために新妻さんに会つて話し合うと思つたが、何としても聞き入れてくれず、喧嘩となり傷害を負わしてしまつたもので、殺意はなかつたと供述した

少年が感電即死

栗拾い中高壓線に觸れ

六日午後三時半ごろ内郷市内町前田三一常磐炭鉱職員松原薇一さんの二男正寿君（九ツ）＝内町小四年生＝は、友人三名と一緒に同市白水町大神田地内の山林で栗ひろいをしているうち同地内を通つている常磐炭鉱綴坑送電線（二千二百ボルト）が地上約一尺位にたれさがつていたのにふれ感電即死した

宛ら鬼畜の夫婦

娘二人や人妻を賣り飛ばす

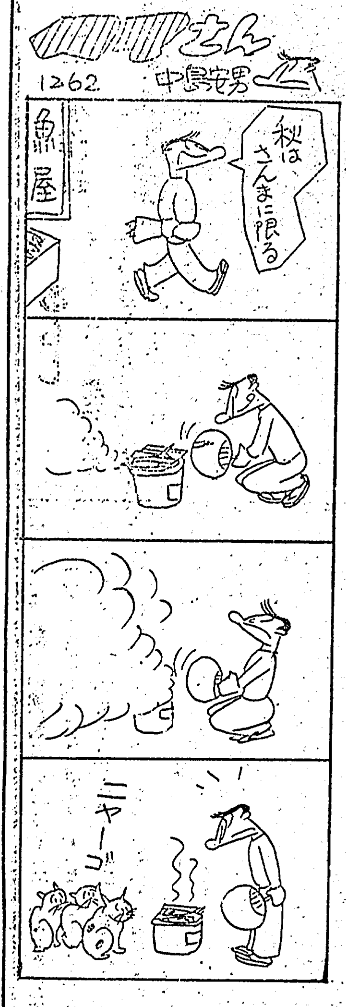
炭鉱界の不況で生活苦から自分の娘二人を身売りするほか、同じ境遇にある家庭の娘や人妻を女中に世話すると騙して魔窟に売つて利かくを稼ぐ外、就職を依頼した人妻の弱身につけ込んで強姦するなど鬼畜の様な夫婦川部村大字三沢字和台三六土工樋口慶三（四五）妻栄子（四五）と東京都墨田区寺島町七丁目九九カフエー「一福」こと福島ナツ（六〇）の三名が、職安法違反、労基法違反容疑で植田署から六日平地検へ送検された

樋口夫婦は昭和十九年三月ごろから採炭夫として勤めていたが、炭鉱界の不況による生活苦から同じく困つている家庭を狙い、たまたま長女英美子さん（三）と川部村大字小川字梅田四無職近岡五郎の内妻須藤輝子（三八）の両名が出稼に行きたいと樋口に話して居たのを利用しかねてから知つていた東京都墨田区寺島町目黒ふじいさん（五〇）から接客婦の斡旋を依頼されて居たので栄子と共謀し同店に接客婦として売り渡した、更に同年五月末ごろ同村三沢字和台三六無職加藤〇江さん（二七）も職を頼んでいたので自分の次女まり子さん（一八）と、もに前記目黒さん方に女中として住み込ませ、なおあきたらず東京都の某「ウナギ屋」から「女中が入用だから世話してほしい」と依頼を受け同村沼部字宿二円谷京の妻コヨさん（三五）を五月二十日午前九時ごろ「世話をしてやる」と常磐線に同車し午前十一時ごろ水戸に降り水戸市本町小松屋旅館に同女を連れ込み「お前の身体には俺の金がかかつている」とおどかして強姦、翌二十一日また前記東京都墨田区寺島町九九のカフエー「一福」に売り込み手数料千五百円を取つたなど、悪らつな手口を重ねて婦女を魔窟に葬つていた

放火未遂で村上を検舉

田村郡常盤町生れ住所不定無職村上正（二七）は二十八年四月下旬午後九時ごろ好間村上好間字荒屋敷二二農業小野ヨネさん（四一）方に現われ、現金をたかろうと縁側障子にマツチで、火をつけようとして強迫、一物もとらず、そのまゝ逃走していたが六日午前十時ごろ好間村上好間地内で白石、樋口両巡査に捕まつた

村上は通称〃タツチ〃の名をもち恐喝暴行など常習犯で相当余罪あるとみられている


さん
1262
中島安男
魚屋
秋はさんまに限る
ニャーゴ

青森の變死人

調査方願出

七日午前十時ごろ四倉町本町富岡勝雄さんは青森で変死た男は次男の一（三五）に似ているからと平署に調査方を願い出た、一さんは漁夫だつたが去る五月十九日ごろ北海道のサケ、マス漁業に出稼ぎにゆくと友人と出たまゝ消息がないが露店商で全国を廻り歩く知人から青森県室戸川添川で見た水死人の腕に桜と磐若面の入墨があつたことを聞き、丁度一さんの腕にほつた入墨と合致することから調査依頼を申し出たもの

鈴木巡査射殺の少女を釈放

誤つて平署鈴木駿信巡査を射殺した平市禰宜町一七クボタ美容院の実習生少女（一七）は取調を終り七日釈放し過失致死容疑で書類送検した

八巻一家の親分捕まる

交通妨害で

六日午後一時二十分ごろ平市三丁目大黒屋前でめいていの上、半身裸かで通行中のトラック、バスなどをとめて交通を妨害していた四倉町下館無職八巻重秀（三〇）は現行犯で平署に捕まつた

八巻は去る七月ヒロポン所持で検挙されたことがあり八巻一家の親分である

洞爺丸の遭難者か

沖合で水死体を収容

七日午前六時ごろ磐城市江名漁業用海岸無線に入つた連絡によれば同市大字江名字南町五坂本八十吉さん所有のサンマ魚船大洋丸（三一トン）が、六日午後一時四十五分ごろ岩手県とど崎二〇〇〇米沖合で操業中、二十七、八才くらいの一見鉄道員風の男の水死体を発見収容した、その後同船が岩手県宮古に向け帰航中無線連絡したところでは、水死体は地下足袋を履き、国鉄の制服を着て救命胴衣をつけているところから、去る九月二十六日函館港外で颱風のため坐礁沈没した洞爺丸の乗船客ではないかと見られている

密造で六名檢擧

山田村部落を急襲

平税務署では六日午前九時ごろ植田署の応援を求め山田村の上山田小山田両部十三カ所の密造地帯を急襲、製造犯原向再（三三）所持犯仁藤よしの（五三）ほか六名を検挙した押収したものはアルコール四斗、焼酎八斗三升、一升百八十円で密造元から購入し二百五十円で小売していた

四倉驛の跨線橋完成

十五日落成式

四倉駅跨線橋は鉄筋コンクリート建（幅二米、全長二十米、両階段二十米）で総工費約四百万円を投じた近代的跨線橋は去る七月二十九日東京坪井工業に依つて着工され工事はスムースに進行、来る十五日落成式の運びとなつた、この陸には故四倉駅長門脇氏の努力の賜と一般から感謝されている（写真は四倉跨線橋）

強姦未遂に三年の求刑

石城郡錦町大字大倉字大島八三（砂利採取人夫大場政四（三九）に係る強姦未遂事件の公判は、大竹裁判長係中村検事立合で六日午後三時より平支部法廷で開かれ、中村検事より懲役三年の求刑があつた

同人は去る五月十二日午後九時ごろ、山田村大字宮津地内中根覚衛方砂利取現場休憩小屋附近で、同村小峰静子さん（二〇）に西洋剃刀を突きつけ「お前の顔がいくらよくても、この剃刀には負けるだろう、この剃刀に勝てるなら勝つてみろ、こつちにドスもあるんだ、逃げるなら逃げてみろ」と脅迫、逃げ廻る同女に「お前が他の男と一緒に居たことが俺の耳に入れば、お前の家に火をつけるし、お前を殺してやる」と脅迫附近にあつた砂利取船に引張り込み強姦しようとして未遂に終つたもの

常磐と内郷組

あすから練習試合

県庁新築落成記念行事として行われる県下都市対抗野球大会に出場する常磐、内郷の両チームは去る五日から浅貝球場で必勝を期して合同練習を行いチームコンデイシヨンの調整につとめて来たが両チームとも炭鉱球界の王座に君臨している常磐炭鉱野球の主力選手で編成されているだけにチームワークも良く県下随一と定評のある試合運行の上手さから信夫ケ丘球場で行われる同大会の覇者はこの両チームによつて争われるものと思われているが、両チームの激突は事実上の決勝戦と目されている、この好ゲームを地元ファンの要望により次の日程で練習試合を行うことになつた

▼八日午後三時半内郷市金坂グランド▼九日午後三時常磐市浅貝球場

多彩に繰展ぐ

十日常磐炭鑛運動會

常磐炭鉱の従業員慰安秋期大運動会は十月十日午前八時から各鉱一斉に開き炭鉱独とくの仮装大会、一山一家リレー、団結の力など多彩なプログラムが組まれている、各鉱の開催場所次の通り

▼湯本鉱、湯本二小グラウンド
▼鹿島鉱、湯本三小グラウンド
▼磐崎鉱、磐崎グラウンド▼内郷鉱、金坂グラウンド

勿來川部線バスを延長

常磐交通では五日から勿来—川部線を田人村旅人農業組合まで新路線を延長開設した、田人山中の大平高松、小宮、田人発電所、植田営林署田人事務所など便利となり一日二往復する、将来は東白川まで延長する予定、新設発着時刻は次の通り

勿来発	旅人発
六・〇〇	七・三〇
一四・五〇	一六・二〇

（所要時間一時間半）

屋台を焼く

七日午前四時四十五分ごろ磐城市橋本一六キンツバ露店業かぶら木みさをさん（四〇）のバラック建てキンツバ屋台（建一・五坪）内から出火、屋台を全焼しただけで鎮火した、残り火の不始末と見られ損害は一万五千円

磐城水商委會

磐城市水産商工委員会は七日午後一時から市役所会議室で開き小名浜魚市場の洗魚用海水タンクの補修工事について協議した

名産
鰹節
志ほから
平四 電二二三

一日二錠で明るい人生を…
老化現象は三十才から
生命に一ばん関係ある
血管と肝臓
武田薬局
平市材木町聚楽館前電七〇九

御婚禮家具 陳列
漆器 事務用家具
★季節の家具
特別展示中
遠近に拘らず
配達致します
あるが
平・銀座 電223

ゼネラル
シャープ
オンキヨー
高級スーパーラジオ
10カ月 6カ月 月賦
一番簡単な契約方法に
よりお求めになれます
酒井無線
平市五丁目電1990

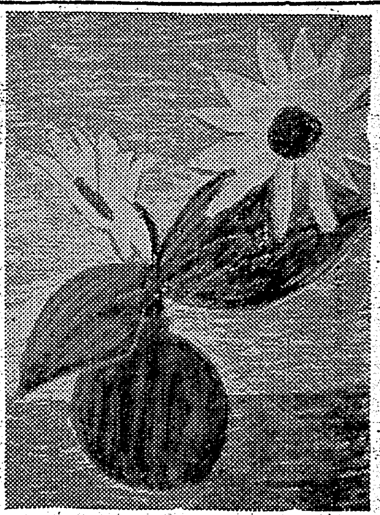
江戸前壽司
割烹 小料理 和洋食 そば
◇明るく衛生的で手軽く安い
奈加やの味覚をぜひ！
出前迅速
奈加や
振袖小路電395

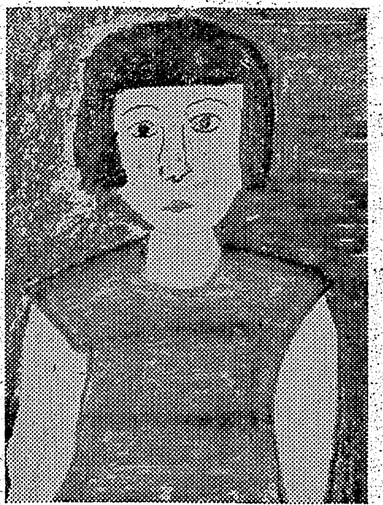
産婦人科
中田医院
平市材木町聚楽館前
電話一〇九七番

コロムビアのビクター
ラジオと電蓄
レコード・新譜続々入荷
時計の
金光堂
5丁目 電195

学芸

平二小作品





静物　二年一組齋藤憲子　人物　二年一組石崎憲雄

あらし

二の一　荒谷博子

きのうはゆうがたから、大あらしになりました。うちのおとうさんが、ふくしまにいつていたのでうちのおにいさんが、犬のせわをしてくれました。おかあさんが「ふくしまではあらしがひどいでしようね」といつてしんぱいしていました。そしてかみなりがなつたのであたしは、ふとんにもぐつて耳をふさいでいました。ごろごろかみなりはひどくなるばかりです。「ごはんですよ」とおかあさんがよびました。ごはんをたべてからおふろにはいりました。でもおにいさんは、いつものろまなのにきようはいつもよりはやくはいりました。あたしは七時にねようとおもつていたのに七時はんになつてしまいました。ちやわんをあらつていたからです。そのうちおかあさんはおとうとをねかせていました。

おみやげ

二の一　和貝順子

きのうはゆうがたから、大あらしになりました。わたしの家のおとうさんはおそうしきにいつていました。そしてみんなで「おとうさんがぬれてかえつてきますね」といつていました。すこしたつたらおとうさんがかえつてきました。ずぶぬれになつてきました。そうしておみやげにもちを二つだしました「これぱつかり」とわたくしがいつたらぽけつとからまた二つだしました。また「これぱつかり」といつたらまた二つだしました。そしてあめもだしました。くらつかもだしました。したあめとくらつかはみんなでたべました「おもちはあしたやいてたべましよう」といいました

あらし

二の一　とりさきあけこ

きのうは、ゆうがたから大あらしになりました。おながしのてんじようから雨が、もつてきました。そしてもるところにばけつをおきました。わたしがべんきようをしていたところに、ポツポツとまたもつてきました。「おかあさん雨がもります」というまにちようめんが、びしよびしよとぬれてしまいました。そのときおとうさんがかえつてきました。わたしが、とをあけて「おかえんなさい」といつたらおとうさんが、かさのほねをおつてかえつてきました。そしておとうさんのずぼんがびしよびしよでした。すこしたつてからこんどおねえさんが、かえつてきました。またおなじく「おかえんなさい」といつてとをあけてみたらうちのしんせきのようちやんからかさとげたをかりてきました。おねえさんもぬれてきました。

四倉小作品

お母さん

四の一　坂本題一郎

今日もまた朝からヂリヂリと暑い。後の山でやかましくなくせみの声が、いつそう暑く聞える。今日のおさらいをりつぱにやれば海水浴につれて行つてくれると言うお父さんとのやくそくで、僕は朝の涼しいうちにおさらいをすませた。「今日は丑の日だし、今からたくさんの人が来るでしよう。海はにぎやかですよ。」とお父さんとお母さんが話している。僕はお父さんと海に行つた。砂はもうすつかりやけている。海は人でいつぱいだ。ふとみると本町の方からどやどや列になつてやつてくる人達がある。さつそく海に赤つて行つたが「海に入る前に体操してから泳ぐこと」と、僕は先生から注意された時の事を思い出したので、しばらく体操をやつた。手や足の指の体操までやつてから泳いだ。海水浴は大すきだ。海の水は冷めたいので早く上つて、腹あぶりをしていると背中がヂリヂリやかれるのでまた直ぐ海に飛びこまないではいられない。お昼も近くなつたころ「お母さんが来たよつ。」と、お父さんの声がしたので僕がどての方を見たら妹をつれたお母さんの姿が見えた僕はうれしくなつてしまつた。そしてかけ足で海へ飛びこんだ。砂をおとして、大いそぎでお母さんを呼びに行つた。お母さんはおいしいごちそうを作つて来たようだ。みんなとてもおいしい。お母さんは僕らのために暑い家の中で、汗を流して作つて下さつたのだろう。そしてこんなに暑いのに海にも入らないで、僕達の着物の番をしていて下さる。僕が時々海の中からお母さんの方を見たら、お母さんはいつでも僕達を見ているようだ。僕はうれしくなつてとくいになつて深い方へ入つて行つた。上つて来たら、お母さんに「深い所へ行つてはいけないよ。」と、言われた。こんなに暑いのに砂の上で番をしながら、海の中のこんなに多ぜいいる人の中の僕たちを見守つていて下さるお母さんは、ほんとうによいお母さんだと思つた。「大きくなつたら、きつとお母さんをよろこばしてあげるからね…」と僕は心の中でそつとちかつた。

隣保館の運動會

平隣保館では来る十日九時から平商高庭で運動会を開く

珠算合格者 ④

【五級】吉田しま子 吉田チエ子 吉田ヒロ子 吉田アヤ子 吉田征司 弁野宏 鈴木君子 佐藤風子 渡辺静子 星征子 鈴木正 箱崎栄三郎 寺山一枝 油井サツ子 桝内登美子 平沢節子 渡辺トキ子 佐藤勝子 吉野端子 石井武典 芳松芳男 加藤功 根本二葉 原智惠子 高田郁子 吉田泰子 山野辺伊勢雄 根本貞夫 吉芯田厚 草野昭広 茂木淳平 小森山宇多 杉浦正子 渡辺正子 本多きよ子 松村美美江 今関愛子 佐藤郁子 高木和柄 遠藤厚子 馬場由美子 薄葉太己 戸田和男 大和田庄七 近野誠一 松本千夜子 西山勝美 鈴木孝 林恒雄 遠藤薇子 佐川一 渡辺マサ子 近藤栄造 渡辺邦男 佐藤繁子 森雅史 猶江通子 佐藤英司 中塚宮子 秋山慶子 広木裕雄 仲井かつ子 飯部静子 小野陽子 高野照子 長毅定 阿部晃司 渡辺ヤス子 下山田敬子 柳瀬弘子 松本容子 西郷薇久 鈴木磐 古関順子 佐藤清己 菊地力男 長沢八重子 加藤道徳 吉田昭夫 森薇光 小高和子 新妻洋子 石井ウタ子 北村信子 木田知子 長谷川良朝 吉田トキ子 高木アイ子 飛塚広子 木田美代子 菅野さき子 斎藤智惠子 市島郁子 仲村トミ子 小浜進 小野ミキ子 真渡伸子 佐藤安子 平子美津子 名城正勝 大槻洋子 長瀬美智子 古内有子 桑原洋子 片寄一子 山内俊子 大槻サイ 松本サキ子 鈴木美佐 かけい喜代子 斎藤ミツ子 村田芳子 小野塚綏子 渡辺ヒデ 舞谷トシ 相良仁子 佐藤紘子 長谷川正子 新谷てる子 山野辺一男 阿部安典 蛭田脩男 宮内丈夫 丹野啓 大地毅紀 生田目長年 吉成照幸 鈴木タツノ 生田目逸子 中村美佐子 根岸寿美江 生田目ヤス子 根本幣子 高木澄子 面川タツ子 戸田幸子 永瀬紀子 鈴木真佐子 坂本かつ子 榎本トシ子 深沢ケイ子 芦間利子 小野芳枝 松本キセ 芳賀紀夫 佐藤ヒロ 五十嵐七郎 安齋稍 鈴木洋一 渡辺良治 小松由蔵 堀井紘一 中村京子 草野昌春 小野晋一 晁財子 山形忠一 嵐清 名雪和夫 羽曽部和幸 大津トミエ 鈴木美智子 遠藤勝男 高木次雄 佐々木国雄 斎藤誠 渡辺克子 水口千代子 栃谷芳子 朝妻日端洋 高橋正明 安田英弘 水口正 高木道子 浅野正彌 高橋蓉子 小野勝雄 芳賀イツ子 小林和子 櫛田孝子 佐藤ミチ子 鈴木秀樹

教育研究大會

來る九日に

県教組石城支部では九日午前九時から常磐市湯本公民館で郡内小中学校全職員による第四回教育研究大会を開く、同研究発表会は「平和を守り、真実を貫く民主教育の確立」を基本テーマとして各校から選出された職員の研究発表ののち県大会代表者を決定する

いわき俳壇

大平市を祝す

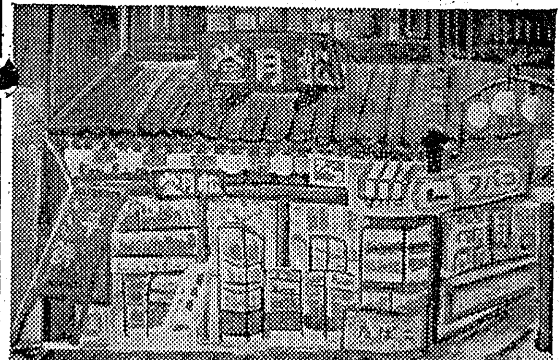
旧夏井村　山名胥村

いのち来経しこの名を惜しく曼珠沙華

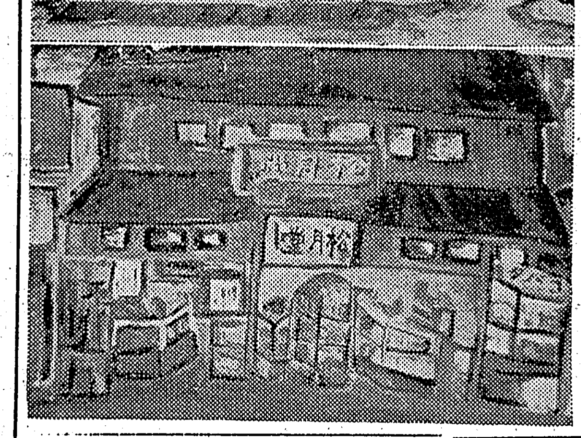
今宵よりみな平市の秋燈点く
豊間高久夏井草野の名は秋草に
常のごとバスはゆきけふ合併祝宴
嬉しともわびしとも花火稲に揚り
て秋川の夏井の川は名を留む
飛び飛びて稲雀ゆく限りなし

柿の実を祖霊に捧げ告げもしぬ
無花果や平市として発信す
秋水に秋水に心一つなれ

本社主催　図書入選作品紙上展



松月堂　平一中三年　横山功



平三小六年　齋藤公男

今晩のラジオ

7日

◇NHK一三六〇KC
六・四五（郡）四局通信
七・三〇浪花演芸会
八・〇〇十月の歌　津村謙
八・三〇「由起子」津島惠子
九・一五エンタツ人生模様
九・四五箏曲
一〇・一五おかめ八目
一〇・〇旗　照夫
◇ラジオ福島一〇六〇KC
七・一五音楽劇「母をたずねて」
七・三〇唄うパラマツクスアワー
八・〇〇講談「旗本退屈男」
八・三〇お笑い回り舞台
九・〇五平凡アワー　ジヤズヒツトパレード
九・三五浪曲
一〇・〇五名作アルバム

今週の映画

6日—12日

★平館　夜七時　江戸の夕映　ハワイ珍道中
★民劇　夜六時十五分　非戸　まぼろし変化　君死に給うことなかれ
★聚楽館　夜六時三十分　ジヤバへの順風　山河遥かなり（十一日まで）
★ひかり座　夜六時二五分　溪谷の騎士　波止場
★世界館　夜六時十一分　幽霊軍隊　赤穂義士　ふり袖月夜

牛と豚肉　ハムとソーセージ　藤越　平・電1282

カメラは田中

塗料専門　タイヤ塗料商会　平市南町67TEL平1351

開花亭のパン

肉の御用は　三二三屋へ　TEL・323

地下タビ　運動靴　長靴は　祖國　袋屋本店

誰方でも安心して使える　ふくふく綿　2丁目　平製綿KK　電748 1958

眼鏡専門　各眼科医指定　平指定商チケツトご利用下さい　玉屋　平市二丁目電910

アナタの体温計は正確ですか　当店は毎月十五日体温計の無料検査を致して居ります　どうぞお気軽にお持ち下さい
皆様の　関内薬局　電40番

外科　肛門科　上田醫院　平市南町（平局裏通）　電話一二九番

平運動具店　平市才槌小路　デンワ108

近代人の足　大型　中型　小型　お電話でお宅の前に　三井タクシー　デンワ六八五

外科（胃腸科）　整形外科　産婦人科　レントゲン科（断層撮影設備）　労災保険指定医　入院随意　永井醫院　院長　永井勝三　植田町本町四二電四七

ピッタリとお気に召すこと　うけ合い!!　正札堂洋服店　平市大通り